



平成29年10月23日

各報道機関 御中

山梨大学

山梨県町村会・山梨大学連携リレーシンポジウムの開催について（ご案内）
「アグリツーリズムの実践から～ 鳴沢村への提案～」

本学と山梨県町村会は、地域の農業、食、環境、経済の問題解決と若者の定着促進により持続的に繁栄する地域社会の構築を目的に、リレーシンポジウムを通じて、課題解決とその方策の提案を連携して行います。

本シンポジウムでは、山梨県内有数のリゾート地である鳴沢村をフィールドとして、同村の基幹産業のひとつである観光、農業を通じたまちづくりを学生の取り組みから提案し、地域の活性化を考えます。参加無料でどなたでも参加できます。

つきましては、多くの方に知っていただくため、イベント情報欄等でご紹介いただくとともに、当日、取材をしていただきたくご案内いたします。

記

- 1．開催日程：平成29年11月18日（土） 13：30開始
- 2．開催場所：なるさわ富士山博物館（山梨県南都留郡鳴沢村 8532-63 道の駅なるさわ内）
- 3．定員：300名
- 3．申込み方法：氏名、所属、役職、電話番号、Eメールアドレスをご記入の上、11月10日（金）までに以下の申込み先まで FAX またはメールにてお申込み下さい。
- 4．申込み先 山梨大学地域未来創造センター（COC部門）
TEL：055 220 8130 FAX：055-220-8702 メール：coc-event@yamanashi.ac.jp

<問合せ先>

山梨大学 地域未来創造センター（COC部門）

TEL：055 220 8130 FAX：055 220 8702

E-mail：coc-event@yamanashi.ac.jp

<広報担当>

同 総務部総務課広報企画室 望月

TEL：055 220 8005 FAX：055 220 8799

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp



アグリツーリズムの実践から ～ 鳴沢村への提案 ～



山梨大学と山梨県町村会は、地域の農業、食、環境、経済の問題解決と若者の定着促進により持続的に繁栄する地域社会の構築を目的に、リレーシンポジウムを通じて、課題解決とその方策の提案を連携して行います。

本シンポジウムでは、山梨県内有数のリゾート地である鳴沢村をフィールドとして、同村の基幹産業のひとつである観光、農業を通じたまちづくりを学生の取り組みから提案し、地域の活性化を考えます。

日時 平成29年11月18日(土) 13時30分(開場13時)

会場 なるさわ富士山博物館 フジエポックホール

(道の駅なるさわ内)

定員 300名 / 参加無料



スケジュール	
13:30 ~	主催者挨拶 山梨大学 理事(産学官連携担当) 早川 正幸 山梨県町村会 会長 小林 優 (鳴沢村長)
13:40 ~	講演 アグリツーリズムの展開と地域ブランドの発信：鳴沢村の魅力を地域づくりに活かす 山梨大学大学院総合研究部 准教授 菊地 淑人
14:45 ~ 15:00	休憩
15:00 ~	学生活動からの報告・提言：地域資源を活かしたツーリズムの提案ー鳴沢村ー 山梨大学地域課題解決科目履修学生(4チーム) ①観光まちづくりに資する着地型観光に向けた事業・取り組み等の提案 ②地域特産の農産物の活用と6次産業化の提案
16:00 ~	ポスター説明・意見交換
16:30 ~	閉会挨拶 山梨大学地域未来創造センター長 北村 真一

『アグリツーリズムの実践から～鳴沢村への提案～』

参加申込書

下記に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込み下さい。
当日参加も可能ですが、なるべく事前のお申し込みをお願いします。

FAX：055-220-8702

E-mail：coc-event@yamanashi.ac.jp

申し込み締め切り 11月10日(金)

参加申込

代表者氏名		所属・役職	
TEL		E-mail	
氏名		役職	
氏名		役職	
氏名		役職	

会場

なるさわ富士山博物館 フジエポックホール
(山梨県南都留郡鳴沢村8532-63/道の駅なるさわ内)

<アクセス>

車 → [大月・東京方面から]
中央自動車道 河口湖ICより約15分
[甲府方面から]
国道358号線経由で約60分(甲府駅より)

バス → 富士急行線河口湖駅より「本栖湖周遊バス」
にて約25分。「道の駅なるさわ」下車

